

7. 北陸（地域別調査機関：一般財団法人北陸経済研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (北陸)		-	-
		観光型旅館（スタッフ）	・8月以降、予約保有率は前年比91～96%で推移する。7月と比べると少し持ち直しているが、まだ厳しい状況は続く。
		旅行代理店（所長）	・前年は北海道胆振東部地震による予約取消しがあったため前年を上回る見込みであるが、以降は不透明である。
		タクシー運転手	・前年より観光の予約が多く入っている。
		通信会社（営業担当）	・新商品発売の見込みはあるが、端末価格の高騰により思っているほどの販売の伸びは見込めないと考える。
		一般小売店〔精肉〕（店長）	・今月はお盆休みが長く、間延びした感じになり、お盆後半の集客が取りづらくなった。そこで多少のマイナスが生じ、前年並みの推移となった。来月に関しては期待しているが、特に売上を伸ばす要素がないので、例年並みと考える。
		百貨店（販売促進担当）	・将来への不安が払拭されない限り貯蓄傾向は強くなる一方であり、消費マインドが高まる気配はない。消費税の引上げ後は生活防衛意識が高まり、個人消費の節約志向はますます強くなると考える。
		スーパー（店長）	・消費税の引上げ前で一時的な需要は見込めるが、反動も予想される。外食から内食への流れは未知数である。
		スーパー（店長）	・消費税の引上げ前の駆け込み需要もスーパーマーケットでは酒と紙製品ぐらいで、軽減税率と消費税の引上げ後のキャッシュレス還元政策の影響で、10月以降の需要に流れるとみている。
		スーパー（総務担当）	・消費税の引上げ前の駆け込み需要を除けば変わらないと考える。
		コンビニ（経営者）	・来客数、単価共に大きな変動はみられない。
		コンビニ（エリア担当）	・消費税の引上げやキャッシュレスの促進など、不透明要素が多い。
		コンビニ（店舗管理）	・人口減少から来客数の減少は避けられない。人手不足から人件費等の経費増も避けられない。
		衣料品専門店（経営者）	・消費税の引上げ前の駆け込み需要などは感じられず、客は冷めた見方をしている。
		乗用車販売店（経営者）	・消費税の引上げ前の駆け込み需要を期待しているが、営業からの報告では購入意向が少なく、状況は余り変わらないと考える。
		自動車備品販売店（役員）	・消費税の引上げ前の駆け込み需要はそれほど感じられず、客の声からも消費税の引上げ後の影響はほとんどないと考える。
		高級レストラン（スタッフ）	・9月は団体旅行による集客が好調だが、その分10～11月の受注が遅れている。
		一般レストラン（店長）	・このところの動きは比較的良かったが、日韓や米中などの影響で決して良い雰囲気ではない。先行きを読み切れないのが実情である。
		観光型旅館（経営者）	・5月の連休以降個人消費が悪い。10月の消費税の引上げに加え、地元企業の業績悪化により毎年行っている大型団体の取消しなど、秋以降の予約状況が厳しい状況である。
		通信会社（営業担当）	・ボーナス時期も終わり、新商品販売を待っている状況である。今のところ大きく変化する見込みがない。
	通信会社（役員）	・閑散期である8月においても継続して、前年に比べ契約数が増加しているため、今後も良くなるのが期待できる。	
	住宅販売会社（従業員）	・消費税の引上げの駆け込み需要の反動減が出ている。工事量はあるものの受注が減っており、イベント等で需要を掘り起こし、見込み客を増やして今後の契約客数を増やす。	
	商店街（代表者）	・消費税の引上げや郊外の大型店舗増設等の悪影響が考えられるが、各店舗の地固めをしっかりとすることが将来につながる。辛抱しながら固定客の流出を防ぐよう努力が必要である。	
	商店街（代表者）	・消費税の引上げを前に駆け込み需要を期待したいが、そのような雰囲気はみられない。	
	一般小売店〔事務用品〕（店員）	・消費税の引上げや商品の価格改定により、積極的な商談が期待できない。	
	一般小売店〔書籍〕（従業員）	・引き続き原材料の値上がりが多くあり、その上消費税の引上げも控えており、良くなる要素はない。	
	百貨店（売場主任）	・消費税の引上げ後の消費の冷え込みが心配である。	

	百貨店（販売担当）	・消費税の引上げにより一時的に前年を上回ると考えるが、増税だからと先行購入やまとめ買いの動きは紳士服売場の商品ではない。気温低下で秋物商材に期待しているが、本当に必要になるまで来店せず、明日、明後日に必要だから来たという客が多い。それでも客は時間を掛け、吟味して購入する。しかし、秋の旅行需要は活発なのか、衣料品の動きはないが、60代以上の女性中心に旅行バッグには動きがある。
	スーパー（総務担当）	・10月から消費税の引上げがスタートするが、軽減税率のため駆け込み需要は余り見込めない。しかし、消費税の引上げが10月以降の売上に影響しそうである。
	スーパー（店舗管理）	・前回同様、節約志向からか来客数に対し買上点数が増加せず苦戦している。今後も上がる見込みはないと考える。
	スーパー（統括）	・食品は軽減税率の対象であるが、消費税のほとんどが10%となるため、家計の節約志向はより強まると考える。
	コンビニ（エリア担当）	・消費税の引上げのためやや悪くなる。
	家電量販店（店長）	・消費税の引上げの反動は必ずあると考える。
	家電量販店（店長）	・消費税の引上げによる駆け込み需要が出始め、その反動によって冷え込みが見込まれる。
	家電量販店（本部）	・消費税の引上げ前の駆け込み需要が想定したほど出ていない。節約意識が高くなっている。
	乗用車販売店（従業員）	・消費税の引上げ後の景気が気になる。
	乗用車販売店（役員）	・日米間の交渉も米国の要請に押し切られた感がある。また、米中間の貿易などの停滞もしばらくこのままの状態が進むと考える。
	住関連専門店（役員）	・消費税の引上げ後の動きが余りにも読めない。もちろん消費の落ち込みは十分考えられるが、ポイント還元等の動きもあり、過去数回の消費税の引上げ時の落ち込みよりは反動が少ないようにみえる。
	その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・消費税の引上げ前までは好調に推移するとみられるが、引上げ後は一定の買い控えが発生するとみている。
	都市型ホテル（スタッフ）	・10月からの消費税の引上げがどこまで売上に影響するか懸念している。
	都市型ホテル（役員）	・レストラン部門では10月からの消費税の引上げ、宿泊部門では香港のデモの長期化と韓国との関係冷え込みによる影響が懸念される。一般宴会はコンベンション関係などにより例年と同様の傾向にあるが、全館での景気動向はやや悪くなると考える。
	タクシー運転手	・秋の観光も本格化し、観光客を中心に利用客が増えると思われているが、地元の客は消費税の引上げがあることで、財布のひもが固くなると考える。
	通信会社（職員）	・消費税の引上げの影響は、対応を求められる企業や小売店などの負担が予想以上に大きい。軽減税率対象外の小売であることや、8%の増税時の対応経験から問題ないものと考えていたが変更点が多い。
	通信会社（役員）	・10月の消費税の引上げは家計負担に直結することもあり、通信関係の支出節約による既存契約の解約や見直しに結び付くことを懸念している。
	テーマパーク（役員）	・国内の団体客の予約状況が前年と比較して悪化している。また、10月からの消費税の引上げの影響もあり、やや悪くなると考える。
	競輪場（職員）	・消費税の引上げの実施により、車券の売上が減少するとみている。
	その他レジャー施設〔スポーツクラブ〕（総支配人）	・子供向け夏休み特別教室からの本科入会が思わしくない。また、大人の会員では競合店が新規開業した影響が考えられる。
	美容室（経営者）	・人手不足と10月からの消費税の引上げ、それに国際問題が同時に重なって、今後大変な不安を覚えている。
	住宅販売会社（従業員）	・消費税の引上げが施行されると、これまで以上に客の買い控えが見込まれる。
×	商店街（代表者）	・このまま消費税の引上げが実行されるとどうなるのか、全く見当がつかない。
×	一般小売店〔鮮魚〕（役員）	・消費税の引上げの影響は計り知れないと考えている。当社のように外食に携わるところは、いの一歩に悪影響が出る。

		コンビニ（店長）	・ここ1年ほど常に売上面で景気が悪化している。客から以前と比べて仕事が減ったという声を聞き、それに伴い夕方の販売単価も減少している。週末の客の様子から無駄なものはなるべく買わないという動きがみられる。韓国人の客が登山などに来なくなったことも影響するが、韓国人の客の減少による影響は少ないものとみている。	
	×	衣料品専門店（店舗運営）	・消費税の引上げの影響はしばらく続くともみている。	
	×	その他専門店〔酒〕（経営者）	・10月になれば消費税の引上げがある。これで景気はただでさえ悪いのに、なお悪くなるという状態である。	
	×	一般レストラン（統括）	・10月の消費税の引上げの影響があるとみている。軽減税率の導入やキャッシュレス還元などの制度も消費者には仕組みが理解しにくく、動向の様子見する結果、外食の消費が抑えられると考える。	
	×	スナック（経営者）	・国内外の情勢や株価、消費税の引上げなどで、心理的にも相当落ち込む感じがする。	
	×	パチンコ店（経理）	・消費税の引上げのため悪くなる。	
	×	住宅販売会社（従業員）	・個人の客が多いが、購買意欲が減少するとみられ、住宅販売も厳しい状態になると考えている。	
	×	住宅販売会社（営業）	・良くなる要因が見当たらない。	
企業 動向 関連 (北陸)		-	-	
		不動産業（経営者）	・今は法人客からの問合せが少し増えてきていることと、同業者関係の情報が少し飛び交うようになっている。	
		食料品製造業（経営企画）	・重要なチャネルである国内コンビニ向け、国外中国向け共に明るい材料が見当たらない。	
		繊維工業（経営者）	・消費税の引上げがあることで、駆け込み需要が期待されるとみていたが、なかなか消費や需要に結び付かない。非衣料分野については低位安定している。	
		通信業（営業）	・受注見込みの伸びがやや鈍い感じがするが、今のところ減少傾向に転じることはないともみている。	
		金融業（融資担当）	・ホテルの開業効果などで、観光客の更なる増加が予想され、季節的にも観光関連の需要は堅調に推移すると考える。一方で、取引先の話からもメーカーは、米中貿易摩擦の影響が出てくる企業の増加が予想され、景気の下押し要因となる。	
		司法書士	・住宅関係の取引は多いが、事業関係では会社解散に関する依頼が多い。	
		プラスチック製品製造業（企画担当）	・米中貿易摩擦問題、中東や朝鮮半島など海外情勢の不透明感、材料費や運送コストの上昇が懸念材料となってきている。消費税の引上げ後は駆け込み需要の反動減も予想され、当面厳しい状況が続くものとする。	
		金属製品製造業（経営者）	・2～3か月先の分の注文の入り具合から、やや悪くなる。	
		一般機械器具製造業（総務担当）	・当社の市場である欧州、北米、国内の全ての市場で設備投資を抑えている。	
		一般機械器具製造業（経理担当）	・米中貿易摩擦等の影響もあり、円高が進んでいることで、輸出高の押し下げとなっている。鋼材等も値上げ基調であり、企業収益を圧迫している。国内投資の動きに鈍化がみられることもあり、全体として厳しい状況になるようである。	
		精密機械器具製造業（役員）	・時期的には新商品開発のために各メーカー共に忙しくなるタイミングだが、外注先ではいつもの年ほどは混んでいないような話を聞く。	
		建設業（経営者）	・10月からの消費税の引上げに対して、駆け込み需要の工事受注があるかと考えるが、その後は反動で大幅に受注が減るとみている。	
		建設業（役員）	・設備投資に減速感があるような様子であり、消費税の引上げ後の影響も気になるところである。	
		金融業（融資担当）	・米中貿易摩擦や日韓問題等の政治問題の懸念が増加し、各取引先で今後の見通しを下方修正する数が増えている。	
		税理士（所長）	・設備建設関係では、企業が抱える受注残で何とか2～3か月はあるが、その先の見通しが弱いという経営者が多い。10月の消費税の引上げで、食品関係は8%か10%になる。特に飲食店関係では、10%の消費税の引上げを値上げせず自分でかぶり、その分の売上が実質減少となることから、消費税の引上げによるデフレの心配が出てきている。	
		×	-	-
	雇用 関連		-	-
			-	-
		-	-	

(北陸)	人材派遣会社（役員）	・依然として人材登録者が増えないことから、マッチングに苦労している。
	人材派遣会社（社員）	・現時点では、消費税率の変更対応に伴う開発系の求人数が微増傾向にあるが、対応完了後は落ち着く。しかし、その後も要員減少になることなく、そのまま別案件対応として雇用が続くのではないかと考える。
	求人情報誌製作会社（編集者）	・大きな雇用の話が出てこない。
	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・消費税の引上げ前の駆け込み需要は見込まれるものの、その後の買い控えは前回の増税時と同様だと考える。
	職業安定所（職員）	・7月は製造業の中でも電子部品製造業において大きく減少がみられたが、8月に入り同産業の数社から労働力確保のオーダーがきている。また、引き続き医薬品製造業などの化学工業からの求人の申込みが好調であることから、当面は同水準で移行するのではないかと考えている。しかし、米中や日韓等の国際情勢から、先行きがみえないとする事業所もあり、引き続き注意は必要と考えている。
	民間職業紹介機関（経営者）	・建設業の中小企業は高齢化と、求人しても応募者が皆無で、人手不足により事業が回らないと聞く。
	職業安定所（職員）	・人手不足で求人募集をする企業が多い状況に大きな変化はないものの、高い水準で推移してきた新規求人数が減少傾向である。
x	-	-